

■ 地方教育懇談会 in 熊本・震災復興祈念 ■

特別講演「巨大災害を考える」を熊本で開催

～ 熊本地震の教訓を生かし、身近に迫る大震災に備える ～

【日時】8月5日(土) 15:00 ～ 17:00 【場所】TKP ガーデンシティネストホテル熊本(於:あその間)

関西大学ではこのたび、熊本地震復興祈念・特別講演「巨大災害を考える」を、8月5日(土)15:00から地方教育懇談会・熊本会場(TKP ガーデンシティネストホテル熊本)にて開催します。

本件の
ポイント

- ・全国最大規模を誇る関大の父母・保護者会の地方出張版
- ・防災・減災のスペシャリストによる、“災害への備え”と“復興への課題”についての特別講演
- ・当日は、室原文庫(熊本に縁のある「蜂の巣城紛争」)に関する本学所有資料も展示

本学では、大阪からの遠隔地に在住の父母・保護者を対象に、本学教職員が全国各地に出向し、大学の教育方針や学業、学生生活、就職などの諸問題について全般的な説明や個別相談を行い、大学および父母・保護者相互の交流を図る「地方教育懇談会」を毎年開催しています。

本講演会は、大災害に見舞われた現地の復興を祈念して、熊本での懇談会行事の一環で開催するものです。登壇するのは、防災・減災分野の権威である河田恵昭(関西大学社会安全研究センター長)と、最近メディアでの露出も増え注目度が増している、地盤・土砂災害の専門家・小山倫史(社会安全学部准教授)の2名。そして司会は、社会安全学部長を務め、公共交通安全を専門とする安部誠治(同学部教授)。当日は、社会安全学部が誇る防災の専門家たちが、過去の災害の教訓を踏まえて導き出した「安全・安心」に関する最新の知見を披露し、大災害を前に今しなければならぬことを参加者の皆様とともに考えます。

■ 地方教育懇談会とは？

本学では毎年5月に全国最大規模の父母・保護者が集まる会として、教育後援会総会を千里山キャンパスで開催していますが、地方在住の方にとってはどうしても移動距離の問題があります。そこで総会に出席できない父母・保護者を主な対象として、本学教職員が各地(全国34都市)に出向し、本学の最近の就職状況や学生生活、各学部の教育方針・体制の報告ならびに意見交換を行っています。例年、全会場延べ約800名が参加し(総会は5,000名規模)、大学と父母・保護者ならびに父母・保護者同士での交流を深めています。

つきましては、ご多忙の折恐縮ですが、取材のご検討をよろしくお願い申し上げます。

<震災復興祈念 特別講演「巨大災害を考える」の概要>

- 【日時】8月5日(土) 15:00 ～ 17:00 (教育懇談会は10:00 ～ 15:00)
- 【場所】TKP ガーデンシティネストホテル熊本<於:あその間>(熊本中央区辛島町4-39 ネストホテル熊本 2F)
- 【プログラム】<司会・進行> 安部 誠治(社会安全学部学部長、教授)
<開会挨拶> 芝井 敬司(関西大学学長)
<講演 ①> 熊本地震の教訓ーきたる大震災に備えるためにー
: 河田 恵昭(関西大学社会安全研究センター長)
<講演 ②> 熊本城築城と修復の歴史ー復興に向けた課題ー
: 小山 倫史(社会安全学部准教授)
- 【後援】熊本県、熊本県教育委員会、熊本市、熊本市教育委員会、熊本日日新聞社、NHK熊本放送局、熊本放送、TKU テレビ熊本、KKT くまもと県民テレビ、KAB 熊本朝日放送、エフエム熊本、FM791 (順不同)
- 【備考】特別講演については、一般の方も参加可(先着順、事前申込制) ※前日まで受付

以上

※取材をご希望の方は、お手数ですが下記お問い合わせまでご連絡をお願いいたします。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当:石田、寺崎

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-0201 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

■ 講演概要・出席者プロフィール

- 河田 恵昭（関西大学社会安全研究センター長、専門：防災・減災）

関西大学理事、名誉教授、京都大学名誉教授、くまもと復旧・復興有識者会議委員、中央防災会議 防災対策実行会議 熊本地震を踏まえた応急対策・生活支援策検討ワーキンググループ主査、阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター長、元東日本大震災復興構想会議委員



演題：熊本地震の教訓ーきたる大震災に備えるためにー

概要：南海トラフ巨大地震や首都直下地震の発生が危惧されている。これらは日本にとって国難となる。これまでの歴史を振り返っても、巨大災害が引き金となって衰退へと向かっていった国も枚挙にいとまがない。熊本地震の教訓を踏まえ、きたる大災害に備えるための、いまなすべきことを提言する。

- 小山 倫史（社会安全学部准教授、専門：地盤・岩盤工学）

国土交通省近畿地方整備局 道路防災ドクター、同 トンネルアドバイザー、大阪府 都市基盤施設維持管理技術審議会委員



演題：熊本城築城と修復の歴史ー復興に向けた課題ー

概要：熊本城は、2016年4月16日の本震（M7.3）の震央のわずか約7km北西に位置している。今回の地震により、昭和・平成の修理箇所を中心に、石垣の崩壊が多数発生した。現地調査の結果をもとに、城郭石垣の築造・修復の歴史とともに今後の復興に向けた課題について、過去の戦災や地震による被害状況などにも触れながら講演する。

- 芝井 敬司（関西大学学長）

1978年京都大学文学部史学科（西洋史）卒業。京都大学助手を経て1984年関西大学に着任し、2016年10月からは第42代学長を務める。数量歴史学の歴史研究方法に関心を寄せ、いち早くその動向をわが国に紹介して注目された。また、モンテスキューやエドワード・ギボンに関する研究業績も多数。



- 安部 誠治（社会安全学部長、教授、専門：公益事業論）

大阪市立大学助教授を経て1993年に関西大学商学部へ着任。その後、社会安全学部設置に伴って同学部に移籍し、現在は学部長。公益事業学会会長、政府原発事故調・技術顧問などを歴任し、現在、事業用自動車事故調査委員会委員などを務めている。



以 上